

## 令和7年度印西市地域ケア会議 会議録

日時：令和8年3月19日（木）午後2時から午後3時40分まで

場所：市役所 農業委員会会議室

出席者：19名 欠席者：2名 傍聴者：0名

	所 属	氏 名
1	民生委員児童委員協議会	宮内 和美
2	秋桜居宅介護支援事業所	齋藤 茎子
3	印西市シルバー人材センター	小林 美喜
4	生活協同組合コープみらい	前原 一輝
5	生活協同組合コープみらい	稲葉 達哉
6	株式会社ジョイフル本田千葉ニュータウン店	高石 武士
7	株式会社ジョイフル本田千葉ニュータウン店	佐藤 正直
8	プレーグ印西牧の原通所介護事業所	宮崎 幸子
9	印西市社会福祉協議会	平野 彩子
10	印西北部地域包括支援センター	工藤 公憲
11	印西南部地域包括支援センター	太田 佳子
12	船穂地域包括支援センター	吉橋 崇
13	印旛地域包括支援センター	荒井 千景
14	本埜地域包括支援センター	鈴木 幸子
15	印西北部地域包括支援センター 生活支援コーディネーター	小林 みゆき
16	印西南部地域包括支援センター 生活支援コーディネーター	森 敬子
17	船穂地域包括支援センター 生活支援コーディネーター	竹中 美佳
18	印旛地域包括支援センター 生活支援コーディネーター	篠原 和江
19	本埜地域包括支援センター 生活支援コーディネーター	伊東 ゆみ子

事務局：高齢者福祉課 課長補佐 大菅  
          高齢者福祉課 包括支援係長 赤間  
          高齢者福祉課 包括支援係 荻原・池田

<会議内容>

- 1 開会
- 2 会議録署名委員の選出
- 3 議題  
    (1) 高齢者の買い物支援について
- 4 その他
- 5 閉会

<会議要旨>

議題(1) 高齢者の買い物支援について

座長)

座長を務めさせていただきます高齢者福祉課課長補佐の大菅です。  
議事がスムーズに進むよう、皆様のご協力をお願いいたします。  
それでは、議題(1)「高齢者の買い物支援について」に移ります。  
まずはじめに、地域ケア会議について、事務局の荻原からご説明いたします。

(説明 荻原)

座長)

ただいま、事務局から地域ケア会議について、ご説明がありましたが、ご不明点などは、ございませんでしょうか。

それでは、ここからは、お手元にございます、資料2「地域ケア推進会議から見えてくる高齢者の買い物支援」をもとに、進めさせていただきます。

それでは、事務局からご説明いたします。

(説明 荻原)

N委員)

補足ですが、様々な意見が出ました。買い物だけでなく、例えば、身体に不自由が生じた時、耳が聞こえにくくなった時に、印西市では補聴器の購入助成があるが、骨伝導のものや集音機などの助成もあれば良い等、どういったものがあると、これからの衰えに適應できるのかという意見が出ていました。また、畑を活用した自給自足をしたらいいよ等、昔のような助け合いができれば良いなという意見もありました。

座 長)

ただいま、各圏域の高齢者の買い物の特徴や市全体での課題やニーズも見えてきたかと思えます。N委員から補足いただきましたが、他の各地域包括支援センターから補足ございますか。

ないようなので、見えてきた買い物の特徴や課題を、買い物の手段・方法ごとに見ると次のようになります。手段・方法ごとに課題に対し、皆様の視点で、どのような対応や取り組みができるか、また、対応する上での課題や連携のご意見・ご提案等ございましたら、お願いします。

まずは、「お店に行つての買い物」について、いかがでしょうか。

座 長)

ジョイフル本田千葉ニュータウン店では、多方面から色々な年齢層が来ていると思いますが、どうでしょうか。

F委員)

移動は、駅だけになりますが、北総線印西牧の原駅と千葉ニュータウン中央駅に無料バスの運行をしています。ただ、お店と各駅を行き来するものであり、途中下車・乗車はできません。電車の到着時間に合わせた運行をしており、開店から閉店まで無料送迎バスが運行しています。バスの運行費用については、お店側が負担しています。

駅まで来てもらえればお店に来ることができます。購入品の持ち帰りに関しては有料になりますが、その日の配送は行っていませんが、印西地区だと990円で相当量を持って行っています。お米やトイレットペーパー、お水等の大きい・重いという物であれば、990円で配送可能です。ただ、配送が2日後になったりしており、当日の配送という仕組みがない状況です。

レジについては、セルフレジもありますが、有人レジもあります。ご高齢の方は、有人レジに並ばれているかなと思います。

A委員)

セルフレジのところにも何人かスタッフがいますよね。私もわからないことがあって、「これなんだろう」と思っていると、ずっとスタッフの方が来てくれます。

F委員)

我々のお店では、移動や支払い時への配慮や持ち帰りへの対応等は、網羅しているかなと思います。できるかどうかわかりませんが、他市の店舗にいた際に、その市と一緒に安いタクシー、お店に来るのにタクシー代が市内なら片道300円で来られるタクシーを行ったことがあります。ドア・ツー・ドアなので家まで来てくれるものです。また、お店で

3, 000円以上買い物すると、1回につき500円の割引チケットを渡し、実質タクシー代金が100円と考えられるような取り組みをし、今でも行われているサービスです。この取り組みは、本社を通さないとできないものではありますが、一つの手法かなと思います。

また、高齢者の方が配送やその仕組みを知らない可能性があるので、スタッフ用の地域ごとの配送料金などをまとめた表を、お客様用に作って、手続きをすれば配送可能と周知すれば、少しは買い物負担が軽減できるかなと思います。ただ、電話注文は対応していないのと、実際にお店に来て購入した物を配送する手続きをしてもらう流れにはなりません。

事務局)

お店が実施しているサービスについて、市が周知してもよいでしょうか。市で作成している社会資源マップには、配達サービスや無料送迎バスの有無等を簡単に掲載させていただいているが、より詳細の情報を掲載していくとしたら、お店側として了解いただけますでしょうか。

F 委員)

より詳細の情報を載せる、お水なら何ケースまでなら990円で配送可能、どのようなものを買えば990円で配送できるか、配送できないものは何か等載せるのは問題ありません。また、無料送迎バスを利用している方も多いので、配送の情報と一緒に、無料送迎バスについても掲載いただけるといいかなと思います。送迎バスについては、お店のホームページには時刻表が掲載されています。

N 委員)

JRの駅には送迎バスは行かないのでしょうか。

F 委員)

現状、JRの駅には行きません。利用者で多いのは、千葉ニュータウン駅です。牧の原駅ですと、歩いてくることも可能な距離なのかなと思います。

事務局)

市で作成している社会資源マップには、買い物以外の様々な情報も載せています。そのため、買い物に関する情報を探そうとした際に時間を要する可能性があります。買い物に特化した情報を、ダイレクトに見ていただけるよう情報を知っていただけるよう、市のホームページ等に掲載していけたらと思います。

座長)

高齢者の買い物という点で、何か困っていることや課題と感じていることはありますか。

F 委員)

我々のお店だと、来て選んでいただいている方しかいないので、そこまで困っていることはありません。まれに、介護事業者が、スタッフと一緒に車いすの方を何人か連れてこられて、支援者と一緒に店内を見て一緒に買い物をしています。事前にバス等とお店脇に停めてよいかと相談をいただくので、お店としては受け入れをしています。

お店が広いので、10人くらいの方が来ても、車いす等をご用意いただければ、皆さん一緒に店内を見て回っても他の方の通行の妨げにはならない状況ですので、積極的に買い物等にきていただいても問題ありません。むしろ、ご活用いただければと考えています。

M 委員)

マイクロバスを使ってお店に行く場合には、事前にお伝えしておけば問題ないでしょうか。

F 委員)

事前にご連絡いただければ、問題ありません。その際には。お店の正面にマイクロバスを停めて乗り降り可能であること、マイクロバスは駐車場奥に停めていただくようお願いをしております。

M 委員)

今まで支部社協の協力を得ながら、買い物支援バスを月1回平日開催しています。4月からは、法人のマイクロバスをお借りして、月2回に増やすことになりました。お店では、生鮮食品や日用品の売り場を回り、フードコートに寄るというコースで回っています。

F 委員)

平日であれば、駐車場も敷地内、十分に空いておりますので、問題ないかと思います。

K 委員)

平日のお店の様子を教えていただきたいのですが、高齢者の方は平日買い物に来ているのでしょうか。どなたと一緒に来ていますでしょうか。車でいらっしゃる方で、駐車場のトラブルや車の事故とか感じることはありますか。

F 委員)

お一人か、ご夫婦かでいらっしゃる方が多いです。また、年に数件、アクセル・ブレーキの踏み間違いがあります。そのため、メインの駐車スペースだけですが、車止めを外さない運用にしています。暴走事故は、年に数件ありますが、大きな事故はありません。

K 委員)

アクセルとブレーキの踏み間違いをしてしまうような運転能力の方も来ていらっしゃるということですね。教えていただき、ありがとうございます。

M 委員)

以前、お店に買い物に行ったけど戻れなくなってしまった高齢者がいて、お店の方が対応してくださって、警察や地域包括支援センターに連絡が来たことがありました。お世話になりました。

F 委員)

車に戻れなくなる等のケースは適宜あります。その際には、近くのスタッフや駐車場警備員に声をかけていただければ、スタッフが多いので一気に探しますので、だいたいすぐに見つかります。できれば、困った時に一人で探さないで声をかけてもらいたいです。地域包括支援センターの方には、高齢者の方に、スタッフに声をかけるよう伝えてもらえれば、安心して買い物にいけるのかなと思います。

座長)

他、よろしいでしょうか。次に進ませていただきます。生協の方がいらっしゃるので、「自宅にいながら買い物」について、話を進めたいと思います。お店の取り組みについてお話をお願いします。

E 委員)

高齢者の方のご利用も多いので、先ほどの推進会議の結果にもありました、注文書の文字が見にくいという意見は多数あります。そのため、注文数は限られてしまいますが、写真が載っていたり、大きく商品名が書かれているような、カタログと注文書が一緒になったものがあります。実際にお持ちしたので参考にご覧ください。

あとは、インターネットからも注文ができるので、画面で商品を拡大しながら見ていただくこともできます。インターネットからの注文が6割ほどで、注文書やアプリから注文される方もいます。

また、同じものを繰り返し注文してしまうことに対しては、毎週取るというふうに登録をしまっているのではないかと思いますので、登録を外すこともできます。お問

い合わせいただければ、登録を解除することも可能です。お届けは決まった曜日と時間で行っていますので、注文から到着までに時間はかかってしまうかなと思います。

インターネット操作に不安があるという意見については、インターネット注文が6割ですが、4割の方は注文書や電話でも可能なので、目の不自由な方などは、電話で注文される方もいます。

事務局)

目の不自由な方の場合、電話をすれば説明をしてもらえるのでしょうか。

D 委員)

注文番号を吹き込んだCDがあり、その読み上げを聞いて、注文されています。印西地区だと10名ほどいらっしゃいます。

また、週1回の配達に加えて、夕食宅配というお弁当や総菜を届けるサービスがあり、週3回～週5回まで利用できます。

A 委員)

見守りにもつながりますね。

E 委員)

そうですね。週1回の配達でも見守りをしていますし、夕食宅配でも見守りをしています。夕食宅配でお弁当に加えて、玉子や牛乳など、今お配りした商品カタログ程度は、毎日お届けすることができます。お弁当と一緒にお届けすることができます。

また、夕食宅配は、配送料無料です。週1回の配達では、65歳以上で80円費用がかかります。グループだと無料になります。

A 委員)

このような情報を知っている高齢者は少ないと思います。私も知りませんでした。ですので、高齢者に知られていない情報をまとめて、それをお知らせすれば、利用される方も出てくるかもしれないですね。

事務局)

毎週、自宅に行かれるので、先週のものが残っていたりしたら、「残っています」と地域包括支援センターに情報をいただくと非常にありがたいです。このように連携を取らせていただいているので、買い物プラスアルファの部分が生協の魅力としてあるのだと感じています。

D 委員)

だいたい週に1回ほどは、先週の注文が残っているケースが発生しています。配送スタッフ用のマニュアルがありまして、普段いつも会えている人に会えない、前回・前日のものが残ったままになっている、新聞が溜まっていることがあると事務所に連絡が来て、地域包括支援センター等に連絡をする対応をしています。

K 委員)

見守りも兼ねているところで、連絡を入れないとという状況の場合、ご契約者様以外の連絡先は把握されているのでしょうか。

D 委員)

そこは課題として、夕食宅配の場合、第2連絡先を聞くようにしているのですが、把握しているのは2割ほどになります。把握できていれば、まずは、ご家族等にご連絡し、その後、地域包括支援センターに連絡させていただけると思いますが、現状難しい状況です。

K 委員)

実は、地域包括支援センターに連絡をいただいたことがあります。ご家族の連絡先を知らなかったケースがありまして、自宅を訪問し、インターホンを鳴らすだけになってしまったことがありました。

D 委員)

新規に注文される方には、連絡先の把握を強化していきたいと思います。なかなか、近くに身寄りがいらっしゃらない方もいますので、なるべく第2連絡先の登録をしていただけるようにしていきたいと思います。

P 委員)

生協を長年利用されている方なんですが、同じものを頼んでしまうそうで、注文書の控えがあればいいなという声があるんですが、例えば、注文書を複写にする等の対応は難しいのでしょうか。

D 委員)

インターネット注文であれば控えが残ります。紙の注文書の端に書くところはあるが、枠が小さいので、課題ではあります。

B 委員)

認知症の方も利用されていると思いますが、玄関先に注文した商品がすごく溜まっているなどあって、この方ちょっと気になるなあと感じたことがありますか。

D 委員)

たまに、配送スタッフからちょっと気になる・おかしいと相談があがります。その際、ご家族がわかれば連絡して、商品の管理などをお願いします。

身寄りのない方には、対応が難しく、「頼んでいない」と言われてしまうことがあります。その際には、仕方がないので返品としています。しかし、繰り返されてしまうと業者としても対応に困ってしまうケースが何件かあります。対応としては、スタッフが注文書の写真を取って、ご本人にお見せするようにして、ご理解いただけるように努めていますが、現状は難しいです。

A 委員)

実際に、いつもチャイムを鳴らすと出てくる方が出てこないの、生協から地域包括支援センターに連絡をいただき、訪問してみたら倒れていたケースがありました。配送スタッフの方がいつもと違うと気づいてくれて、気にかけてくださっていたので助かったんだと思います。このように生協の方から投げかけてもらえたら、たくさん支援をつなげていけるのではないかと思います。

K 委員)

商品を届ける時に、利用者の方といろいろと会話はありますか。長い会話とか。

E 委員)

10年程前には、松崎や本塾等を回らせてもらっていましたが、配送スタッフが来るのを楽しみにしていただいていた方がいました。とてもありがたいと感じています。

座長)

変わりました、H委員のところでの取り組みをお話いただけますでしょうか。

H 委員)

私のところは、デイサービスですが、私たちの法人で買い物支援に取り組むきっかけになったのが、東日本大震災の時に、印旛地区のスーパーがなくなってしまい、理事長がこの印西地区で今後買い物難民の方が出るし、独居や高齢者世帯の支援が必要になるだろうからと考え、牧の原モアにデイサービスを開設しました。モアの中にはスーパーやドラッグストア、100円均一があり、定員20名の中で多いと8名ほど買い物を希望され、デ

イサービスから自宅に帰ってから食べるお弁当や、次回の利用日までに足りる食材やお米や調味料など重い物を買われたりします。購入した物はスタッフが自宅まで持っていきます。

女性の利用者で息子さんと暮らしている方は、紙パンツやパット等をお願いするのを遠慮してしまうということで、デイサービス利用時にスタッフと一緒に買ったりしています。最近は、同居されている方も、自分の目で見たいという方も多いため、買い物を希望される方はそれなりにいらっしゃいます。

車いすの方もスタッフが付き添って買い物に行きます。デイサービスのお迎えに行った際に、ご家族やご本人から買い物の意向を確認させていただければ、その日のスケジュールに組み込んで行っています。また、いろいろとお店がありますが、スーパーを希望される方がほとんどです。

安売りの際にはケース買いを希望される方もいらっしゃいますが、利用者の皆さんを送迎する車に積むので、あまり大きい物だと載せられないので小分けに買ってもらっています。木下や木下東、小林地区の方が希望されることが多いです。

座長)

その他、代行の買い物等もありますので、社会福祉協議会やシルバー人材センターの方とかどうでしょうか。また、お買い物の依頼はありますか。

C 委員)

シルバー人材センターでは、家事援助を希望されている会員が担当されているお客様が非常に多く、実際に、新規のご依頼を承っても、うまくいけばマッチングができるという状態です。今、新規のご依頼を受けるためにどのような体制を取るべきかという段階になっています。今までは家事援助を希望される会員が、家事援助の依頼に行く形でしたが、シルバー人材センターの会員は500名ほどおりますので、希望するというよりは、印西に住んでいる会員ですのでエリアごとに分けて、エリアごとで家事援助もできる方をご登録いただく形で登録された方から行っていただけませんか、できる限りお断りしないような形にできないかと動き出しているところです。

今伺っているところでは、買い物代行と買い物動向の2パターンの対応をしています。基本的には、身体介護、介助、病院への送迎以外のものは、お受けした限りでは断らないようにしています。時間内でご指定のスーパーなどに一緒にお連れすることを行っています。代行だと、どうしてもメニューが偏ったり、希望した物ではないということあったり、その他に、一緒に出掛けるといふ行為が楽しいようで、代行で済む方も月に1回程度は一緒に買い物に出かけるという会員も多いです。

買い物からは外れますが、家事援助で伺っている先で仕事をしながら話し相手になるのが残念なようで、最後に仕事が終わってから30分間自分と話す時間を別に設けて欲しい

と希望される方もいて、家事援助の最後には、何かをながらでお話すのではなく、お話しすることをお仕事の内容とする方もおります。買い物代行だけではなくて、同行は買い物以外の何か、コミュニケーションを期待されている方も多いのかなと感じています。

事務局)

買い物同行してくれるような会員は、男性・女性で差がありますか。

C 委員)

最近、男性も家事援助希望される昔調理師だった方等もいます。ただし、希望される方は、お話相手としても考えてなのか女性を希望される方が多いです。ですので、男性での家事援助だと空きがある状況です。

費用は、今は、事務費を含めて、1時間1,440円です。ただ、週に1時間で行っていますので、交通費をお願いできる方にはお願いしています。また、会員の方が働きやすい状況を作っていくことも、課題となっております。

I 委員)

社会福祉協議会では、ゆうゆうサービスで、買い物代行や付き添いを行っています。昨年に比べ、今年は件数が多くなっていますので、必要とされる方が増えてきているのを実感しています。一緒に買い物に行って見たいという方も多いですが、一緒に行けない場合は代行となっています。費用は、1時間800円で対応しています。ただし、希望される地区で動ける方がいればという形です。なるべくお受けできるよう対応していますが、実際、動ける方がまだまだ足りないのかなという状況です。

市からの委託事業の通院だけになりますが、外出支援を行っています。買い物の対応はしていませんが、実際には、ちょっと寄ってほしいと言われることがあります。決まりなので、寄ることはできませんが、大きな病院であれば中にコンビニなどがありますので、そこで買い物をされる方もいます。

事務局)

外出支援サービスは市の事業なので、市で考えていかなければならない部分かなと思います。ありがとうございます。

L 委員)

今、シルバー人材センターと社会福祉協議会でお話いただきましたが、買い物の代行の話をしていただきましたが、私たちが相談を受けてサービスを考える際に、シルバー人材センターか社会福祉協議会のゆうゆうサービスを勧めるんですが、なかなか受け入れが難しいと聞いています。実際、どれくらいの件数を受けているかわかりますか。

C 委員)

シルバー人材センターでは、ざっとですが、30件ほどのお宅に行っています。実際、家事援助を行っている会員が7～8人です。会員によっては、近所の1件しかできませんという方や8件担当しているかもあります。ただ、今後は、会員登録の仕方を工夫し、お断りしない体制を作っていきたいと考えております。

最近ニーズが多いのが、ベッドを別部屋に移動して欲しい等単発で力が必要なお仕事です。単発ですので、ちょっと行って欲しいとお願いできる会員がおりますので、このようなニーズがありましたら、お声かけいただければと思います。

I 委員)

社会福祉協議会のゆうゆうサービスでは、買い物の活動件数は、10月が12件、11月が7件、12月が6件です。その他、掃除なども依頼はありますので、なかなか手が回っていない状況です。ゆうゆうサービスは、希望者全員をお受けすることはできず、独居や近くに親族がいない方を優先しており、この部分がシルバー人材センターとは異なる部分だと思います。

L 委員)

ありがとうございます。相談があった際に、生活支援コーディネーターがどうにかしたいと紹介するのはシルバー人材センターか社会福祉協議会が多いです。しかし、実際、ケアマネジャーの方からは、相談したけどダメだったという声を聞くことがありますので、課題なのかなと感じております。

座長)

ケアマネジャーとして、介護が必要な方の担当として、その買い物支援の現状、どういう方法で支援しているのか等教えていただけたらと思います。

B 委員)

居宅介護支援事業所は、介護の方を担当しているので、あまりないかなと思いますが、本当に近場の歩いて行けるところへ歩行器を使っていくとか、ご家族の支援が必要な方にはヘルパーの買い物代行が多いかなと思います。自分で行って買いたいという方もいらっしゃいますが、現状、難しいところがあります。

A 委員)

マンションの自助活動というか、マンションの中の人たちで車を持っている動ける方が登録をして、会員限定としておりますが、近場での送迎を行う活動をしています。同じマ

ンションなので、ドア・ツー・ドアで乗り降りできるものです。また、電球を替えるとかも行っていきます。

住民の方の中から、こういうサービスがあるといいよねと声があがり、自分たちで調べて活動を開始してものです。各地域でこのような支援が立ち上がれば、問題は解決しているのではないかと思います。

座長)

生活支援コーディネーターの方から何かありますでしょうか。

Q 委員)

いんざい健康ちょきん運動を行っているグループで、お買い物のお手伝いをしているグループがあります。また、週1回の活動なので、来ていない方がいると心配だからと声をかけて確認をしたりしているそうです。

また、散歩をされていた方が、お友達のグループが入院などで散歩できなくなっていたのですが、また散歩したいとのニーズがあったので、お散歩隊を立ち上げて集会所から出発して、近場のスーパーをゴールにしてやっています。ゴールのスーパーでは、フードコートで休憩させてもらって、そのまま帰る方もいれば、買い物をしてから帰る方もいる状況です。

P 委員)

マンションでお助け隊のようなことを始めたいという相談をいただいたので、すでに活動しているところを紹介しました。どのような手順で始めたかなど話を聞いてもらい、自治会を交えながら始められたそうです。千葉ニュータウン駅周辺のマンションなので、買い物のニーズはないようですが、電球交換やスマホの操作等をしているようです。自治会でスマホを持ち、会員登録をしてニーズと担い手とのマッチング等をしていると聞いています。

事務局)

買い物は、生協だけ、買い物バスだけ、代行だけなど、どれか一つだけで生活している方はいなくて、全部がないと成立しないんだと思います。今日お話をいただいた中で何ができるのかという話になりますが、買い物にまつわる情報をもう少し上手に発信というか、市役所という土台で、買い物支援の情報として発信できるのではないかと思います。

F 委員)

おむつを一定量購入いただくと全国無料配送しているというサービスがありますが、皆さんご存じないと思います。お店としても、情報発信能力がまだまだという部分もありますので、上手くお伝えできる部分が作れるといいなと思います。

事務局)

それぞれの情報をまとめさせていただき、情報をタイムリーに更新できるかどうかは今後の課題かと思いますが、そのすり合わせをさせてもらいながら、社会資源マップや広報誌、ホームページなどで、周知に務めさせていただいたり、今後も情報交換の場を持たせていただけたらと思います。他店がどのようにしているのか、出せる情報、出せない情報とあると思いますが、知っていただけると印西市でお店を運営していく上でのヒントになるのではないかと思います。また、市や地域包括支援センター、生活支援コーディネーターが様々な情報を得られると、高齢者支援に役立てられるので、今後も情報共有をさせていただきたいです。

また、買い物を支援してくれる担い手を確保して、同行してくれる人が増えれば買い物に行けたり、一緒に生協の注文書を書いてくれるなど、人材の部分も考えていかなければならないからと思いました。実際に、個人やグループ等で支援をしてくださっている方はいますので、そのような活動を把握して、その輪が広がるように生活支援コーディネーターとともに考えて、支援していければなと思います。

本日は、様々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

それでは、これもちまして、本日の議事を終了いたします。

令和8年3月19日に行われた令和7年度印西市地域ケア会議の会議録は、事実と相違ないのでこれを承認する。

令和8年5月11日

署名委員 宮内 和美

署名委員 齋藤 茎子